

太陽生命くつきの^{もり}森林

『どんぐりプロジェクト 2016』の実施について

T & D保険グループの太陽生命保険株式会社（本社：東京都港区）は、「太陽生命くつきの^{もり}森林」（滋賀県高島市）において、『どんぐりプロジェクト 2016』を実施いたします。

「どんぐりプロジェクト」は、高島市立朽木東小学校の3年生児童がどんぐりから広葉樹の苗木を育て、3年後の卒業時に「太陽生命くつきの^{もり}森林」に植樹するという活動で、今年6年目となります。

広葉樹は木の実などの恵みをもたらすだけでなく、土砂災害に強い豊かな土壌作りに貢献します。地域の子どもたちと力を合わせて、鹿の食害などによって少なくなってしまったどんぐりのなる広葉樹の森林を再生してまいります。

『どんぐりプロジェクト 2016』実施概要

(1) 10月13日（木）＜3年生対象＞

〔時間〕 9：00～12：00 〔場所〕 くつきの森やまね館

〔内容〕 どんぐり授業、どんぐり拾い、どんぐり植付け

(2) 10月14日（金）＜4年生対象＞

〔時間〕 9：40～10：25（2時限目） 〔場所〕 朽木東小学校校舎横テラス

〔内容〕 苗木植替え作業

(3) 10月14日（金）＜5年生対象＞

〔時間〕 10：45～11：30（3時限目） 〔場所〕 朽木東小学校多目的教室

〔内容〕 森林のはたらきに関する授業

(4) 12月2日（金）＜6年生対象＞

〔時間〕 10：30～12：20

〔場所〕 太陽生命くつきの森林、朽木東小学校多目的教室

〔内容〕 ①植樹式（苗木の植樹）（太陽生命くつきの森林）

②記念セレモニー（記念メダルの授与ほか）（朽木東小学校多目的教室）

<協力> NPO法人麻生里山センター

【お問合せ先】 太陽生命保険(株)広報部 秋山清重（03-3272-6406）

「どんぐりプロジェクト」活動概要

太陽生命は、平成19年11月に琵琶湖の西側、滋賀県高島市の市有林の一角をお借りし、「太陽生命くつきの森林」と名付けて社員の手による森林づくり活動を進めています。むかし里山林だったこの森林は、人々の生活様式の変化にともない人とのかかわりも希薄になり、手入れが行き届かないままの状態でした。そこに定期的に社員が入り、マツ林の保全やビオトープ整備など新しい形で人とかかわる豊かな森林づくりを目指しています。そして、平成23年から、地元、高島市立朽木東小学校の子供たちとの協働活動として「どんぐりプロジェクト」をスタートさせました。ナラ枯れや鹿の食害などによって少なくなったどんぐりのなる広葉樹の森林を再生する活動です。この森林の将来を担う地域の子供たちと一緒に何かできないかといつかねてからの念願が実現したものです。「どんぐりプロジェクト」は同校の3年生～6年生を対象としたプログラムです。3年生は、森林を歩きコナラやクヌギなどのどんぐりを拾い、ビニールポットに植え付けます。4年生は、1年で大きく伸びた苗木をより大きなポットに植え替えます。5年生は、様々な恵みをもたらす森林のはたらきに関する授業を受け、森林を守ることの大切さを学びます。そして6年生は卒業目前の冬、3年間育てた苗木を森林に植樹します。広葉樹の森林は、木の実などの恵みをもたらすだけでなく、土砂災害に強い豊かな土壌づくりにも貢献します。そして、琵琶湖上流域に位置するこの森林は、「近畿の水がめ」といわれる琵琶湖の水を守るためにも重要な役割を果たしています。一粒のどんぐりから森林を育てる体験を通じて、身近な自然を守っていくことの大切さを理解してもらえたらこんなにうれしいことはありません。



【3年生】どんぐりの植え付け作業



【4年生】苗木の植替え作業



【5年生】森林のはたらきに関する授業



【6年生】3年間育てた苗木を森林に

「どんぐりプロジェクト」への想い

太陽生命保険(株)広報部 秋山 清重

高島市立朽木東小学校は、京都と福井を結ぶ鯖街道沿い、旧朽木村の中心地の丘の上にあります。一学年十名前後という規模で、緑に囲まれたすばらしい環境の中、子供たちはのびのびと小学校生活を送っています。太陽生命は、この地域の森全域を管理するNPO法人麻生里山センターの支援を受け、年に数回社員による森林保全活動を実施しています。多いときは2～300名の社員が大集合します。社員による活動が軌道に乗る一方、もっと地域の方々とかかわりを持ちながら森林づくりをしたいという想いがあり、小学校にお声かけをさせていただきましたが、正直なところ、これだけ自然に恵まれた子供たちが東京の企業が進める森林づくりに興味を示してくれだろうかという不安もありました。ところが意外にも、「どんぐりプロジェクト」の提案はとても歓迎されたのでした。この活動を始めた当時の校長先生から、次のようなお言葉をいただいたことが印象に残っています。「私は本校に就任以来、少子高齢化が進むこの地域で大切にしなければならないことは、朽木の良さを子どもたちにしっかり伝え、朽木の地域住民として誇りをもって生きていってくれるような教育に取り組むことであると考えていました。そんなとき、太陽生命様からありがたいお誘いをいただき、喜んでお世話になることにしました。子どもたちが育てた木々が大きく育ち、将来、自分たちの行ったことが形になって現れ、しかも動植物を取り巻く豊かな自然を守る一翼を担ったことが実感できたらどんなに素晴らしいことかと今からワクワクしています。」

企業のCSRの一環として着手した森林保全活動ですが、このように地域の方々との想いをひとつにして活動できることを大変幸せに思います。これからも地域の子供たちと力を合わせて恵み豊かな森林づくりを進めてまいります。